

## 第95回国際キワニス年次総会ラスベガス大会

場所：米国ネバダ州ラスベガス市 Convention Center

日時：2010年6月24日(木)～27日(日)

参加者：6,368名(登録ベース) 内代議員約4,000名、  
日本地区からは22名(内スタッフ1名)

行事：

### 開会式 (6月24日)

Palazzolo 国際会長の冒頭挨拶、ラスベガス市長の歓迎挨拶、元アメリカ国務長官コリン・パウエル氏の講演の後、ラスベガスらしい賑やかな映像やパフォーマンスもあって、会場内の雰囲気一段と高揚された。

その機を捉え、本大会の重要テーマのひとつ、全世界のキワニスが参加して行う第2次 Worldwide Service Project の最終決定案が発表された。Palazzolo 国際会長とユニセフ親善大使で女優の Tea Leoni さんからアナウンスされた最終案は「破傷風から世界中の母と子を守ろう」というものであった。英語では「The Eliminate Project」と呼ばれるが、maternal/neonatal tetanus (妊産婦・新生児破傷風)の中のMNTという3文字が撲滅という英語の eliMiNaTe に組み込まれている。MNTは出産適齢期の女性に約1.8ドルの経費で3回続けてワクチンすることで容易に防ぐことが出来る。この撲滅プロジェクトは推定387百万ドルのワクチン注射に必要な資金の一部約110百万ドルをユニセフと協力して今後5年間で調達しようというもの。明年のジュネーブ大会を目標に今後、効果的な具体的運動計画が煮詰められていく予定である。また、各地区、クラブにおける活動については、今秋10月1日を目標に国際本部より第1次指針が示されることになっている。



### 代議員総会 (the House of Delegates, 6月25日)

#### ① 役員選挙



前年に引き続きキーパッドのボタンを使用した電子投票方式が役員選挙および規約改正の投票に使用され、効率化が定着してきている。

次の期の会長は次期会長(President-Elect)が、次期会長には副会長(Vice President)がそれぞれ昇格するので、実質的に選挙が行われるのはVice Presidentであり、今回は2名の立候補者の間で戦われた。決選投票の結果、ニューヨーク州Bronxvilleクラブ出身のThomas E. "Tom" DeJulioが当選。その後Region I(米国)選出の国際理事3名の選挙(立候補者4名)も行われた。この結果、来期の国際理事会は、Sylvester "Syl" Neal 国際会長、A. Alan Penn 次期国際会長、Paul G.

Palazzolo 前国際会長、Thomas E. "Tom" DeJulio 国際副会長の4名と Europe および Asia-Pacific Region 選出の新任理事2名を含む14名の国際理事で構成されることになる(Executive Director は理事会に出席するが、投票権はない)。

#### ② 規約改正

理事会、地区役員会、クラブから提案された改正案は14項目に上ったが、内3項目が撤回、4項目が否決された。採択された改正の要点は次の通り。

No.1 地域(Region)の呼称を番号から地域名に変更し、7地域構成とする。

例えば、Region IV は Asia-Pacific Region に変更する。

No.2 役員を解任された者が他の役職や任務に就くことを禁止する権限を国際理事会に付与する。

No.3 最高のリーダーシップ基準を確保するため、現任の国際役員及びそれらの候補者、地区ガバナー、次期ガバナーの各人について犯罪歴調査を課す。



No.4 国際キワニスのスタッフの最高位の呼称を CEO から Executive Director に戻す。

No.5 将来ガバナーとなる個人のトレーニングおよびオリエンテーションの期間を1年延長する目的で Vice-governor というポストを設けても良いこととする。

No.6 コミュニケーションや情報伝達手段として、電子的方法の更に効率的な活用を図る。

No.7 正当な理由があると国際理事会が認めた場合は European Federation の年次総会を 20 日間の禁止規定期間内であっても開催可能とする。

### ③ 大会決議

2009年7月11日に逝去された元国際キワニス会長 Aubrey Irby 氏の名誉を称える追悼決議を可決。

### 閉会式 (6月26日)



退任する国際役員への感謝、新たに選出された国際役員の紹介の後、Elmer H. Austermann 国際キワニス財団会長より人命救助に功績のあった個人に贈られるコネリー賞が Ginny Coutright さん(米国)に、また Kiwanis World Service Medal が世界の数千人の子ども達にベッド・キットを提供する等の奉仕活動をしている “Sleeping Children Around the World” という米国トロントが拠点の団体に授与された。

最後に次期国際会長 Sylvester Neal が Alaska Fire Marshal の経歴に因んで、大勢の次期ガバナー達と同じ消防士の赤い帽子を被りながら、“For the 2010-11 year, we will fire up our Kiwanis clubs to serve with excellence and enthusiasm” 等と決意を表明して閉会となった。

### ASPAC 諮問委員会および役員会 (6月23、24日)

大会行事の間を縫って ASPAC の諮問委員会(ACC)および役員会が開催された。ACC (23日)では ASPAC の Bylaws を改正し Association 化を図るとともに、銀行口座をシンガポールなどに開設する準備に早急に取り掛かる必要が合意された。なお、大堀委員から今回で退任の意向が表明され、代わって横山前日本地区事務総長が委員に加わることが了承された。

役員会 (24日)では Marcosso 議長が突然欠席のため Garcia 副議長が議長を代行して議事が進行、ASPAC 改革については、Tadao Oda, Ken Archer, Stewart LaBrooy の3人で構成する小委員会では Bylaws の改定、キワニス国際との交渉などを推進すること、マラッカ大会の後のコロボ大会を2012年3月8~10日に開催することなどが合意されたほか、前記の委員交代も承認された。なお、当日の夜には、ASPAC と European Federation 合同のディナーパーティ(参加者個人負担)が開催され、懇親の成果を上げた。

~~~~~

### フォーラム

Convention Center 内の meeting rooms では連日延べ80前後のフォーラムが開催され、国際本部の活動紹介、会員増強、クラブ新設、クラブ運営、リーダー養成 副ガバナーの任務等のテーマでレクチャー、意見交換が行われ、大会参加のキワニス会員の教育、訓練の場が提供されていた。

### 展示

Convention Center の広大なホールを利用して、多数の展示ブース、キワニスグッズ販売コーナーなどが開設されていた。展示ブースでは、キワニスの歴史、サークルK や米国内クラブの注目される活動状況、次回年次総会開催地の紹介等の中で、YCPO 委員会によるキワニス・ドールの製作(日本など数か国から持ち込まれた黒色、茶色、白色などの shell への締め作業など)、無料配布、活用事例紹介が来場者の大きな関心を集めていた。

なお、ユニセフのブースではその活動のPRに加え、キワニスとの協力関係が強調されていたのが注目された。